

## NABI新潟会計ビジネス専門学校の教育目標

### 1. 校訓

# 進取明知・至誠友愛

進 取…みずから進んで事をなすこと。最後までやりぬく勇気をあらわす。

明 知…学びで深められた知性はみずからの道を明るくてらす。

至 誠…きわめて誠実なこと。純真で清く、正しく、美しい心は、普遍の徳である。

友 愛…親愛の情。若くして得られた友情は、終生心の和みである。

### 2. 教育目標

本校は、ビジネス・コンピュータ分野における資格・技術・知識の習得を基に、社会において優れた人材として活躍できる思いやりの心と共同の精神をもつ人材を育成する。

### 3. 教育方針

- ・正しい道は、どこまでも自ら進んでやりぬく強い意志と勇気をもつ人材を育成する。
- ・みずからの大道を明らかにするため、学びで知性を深めることのできる人材を育成する。
- ・友人に対し親愛の情をもって接することができ、人の心を動かすことのできる人材を育成する。

### 4. NABIの心のあり方

#### 8つの約束（習慣）

- 1 主体的行動～自らの意志で行動しよう～
- 2 目標は小さく～目標は少なく、小刻みに～
- 3 成長優先～自らの成長のため、一番大切なことを優先しよう～
- 4 切磋琢磨～学びの中で、お互いを高め合おう～
- 5 本気の挨拶～心のこもった挨拶で心をひらく～
- 6 協力・感謝～“協力”“感謝”的で、すごい力を發揮しよう～
- 7 健全な体～自分のための時間を大切に、健全な身体をつくろう～
- 8 希望～自分の成長を感じ、人の役に立ち、心は満ち足りる。  
どんなことがあっても、希望を持ち続けよう～

### 5. 本校が目指す学校像

- ・学習、クラブ活動、学校行事、大会コンペ、社会参加活動等でみずからの個性や能力を十分に發揮し、明るく生き生きと毎日を送り、日々成長することができる活力に満ちた学校。
- ・ビジネスの学習を通じて、高い専門性と実践力を身につけ、自ら希望する進路実現ができる学校。
- ・簿記学の精神であるコミュニケーション能力、問題解決能力を備えた人間力あふれる人材を輩出し、地域社会に貢献できる学校。

## 6. 重視する目標

重視目標	実 践 課 題	生徒の努力目標
学力の向上	<p>1 学生一人ひとりの良さを評価しながら、自ら学ぶ意欲を育てる。</p> <p>2 各学科の特色あるカリキュラムを円滑に実施する。</p> <p>3 厳しいが、分かる、そして楽しい授業を研究し実践する。</p> <p>4 進路目標（就職）の実現が可能な基礎学力の定着をはかる。</p>	<p>1 出席率100%の達成を目標とし、遅刻や早退及び欠課などをしないようにしよう。皆出席・定刻前出席（10分前行動）を目指そう。</p> <p>2 復習をしっかりと行い積極的に授業に臨もう。</p> <p>3 まちがい（見直し）ノートを作成し、着実に学力が向上できるようにしよう。</p> <p>4 資格取得は上位級合格を目標とし、自己を成長させよう。</p>
学生指導の充実	<p>1 規律ある基本的な生活習慣と望ましい生活態度の育成を図る。</p> <p>2 学生と先生、家庭と学校との信頼関係を基盤に、一人ひとりの学生の内面理解に努める。</p> <p>3 集団生活を通じて規律と礼儀を学び、社会性が身につくように、温かく毅然とした姿勢で学生に接する。</p> <p>4 朝のホームルームにて、社会生活の規範や人間の行うべき道筋（倫理）について学び・考える時間を設け、社会人として大切な教養を身につけさせる。</p> <p>5 校内の美化、事故の防止に努める。</p>	<p>1 規律ある規則正しい生活を送ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく元気ないさつをしよう。</li> <li>・進んで、清掃、教室美化に努めよう。</li> <li>・学校や自宅での学習をがんばろう。</li> </ul> <p>2 自覚と責任ある行動に努めよう。</p> <p>3 校則を守り、明るく楽しい学校生活を送ろう。</p> <p>4 倫理を学び、知ることで、これを実際にやってみて、実生活に役立てるように心がける。</p>
進路教育・指導の充実	<p>1 担任・就職相談室との連携を密にして、「人としての生き方、働くことの大切さ」について理解を深めさせ、計画的な進路指導に取り組む。</p> <p>2 受験先を選択する力（自己分析・情報収集・絞込み）を身につけさせる。</p>	<p>1 将来の生き方について真剣に考え、自分の進路（就職）に関する明確な目標を持とう。</p> <p>2 進路（就職）目標の実現に向けて自主的に学校生活を送り、自分の可能性を広げることにチャレンジしよう。</p>

重視目標	実 践 課 題	生徒の努力目標
	3 学生一人ひとりの個性や能力の伸長を図り、個を重視した進路指導を心がける。 4 県内外の企業や関係機関、卒業生との連携を図り、進路授業・インターンシップの充実に取り組む。	3 希望進路実現のために、SPI対策・面接練習会には積極的に参加しよう。
行事活動・クラブ活動・ボランティア活動の推進	1 学生の主体性を生かしたクラブ活動・学校行事を推進し、諸行事を通じてその楽しさや喜び、感動を体験させることによって、思いやりの心や感性、幅広い人間性を養う。 2 地域社会の行事、ボランティア活動に積極的に参加させることにより、奉仕や共同の精神を育む。	1 クラブ活動や、レクリエーション等に積極的に参加し、忍耐強く、たくましく、健康な心身をつくろう。 2 学校行事を通じて友情を深め、心優しい心を育もう。 3 ボランティア活動に積極的に参加しよう。
信頼される学校づくりの推進	1 保護者・高校との連携を密にし、学校の説明責任を果たすことにより、信頼される学校づくりに努める。 ・保護者会の開催 ・学校新聞（なびだより）の発行 2 授業アンケート・職員研修・検定分析会を通じて、教職員の能力の向上を図る。	

## 7. NABI新潟会計ビジネス専門学校のあゆみとその思い

NABI新潟会計ビジネス専門学校は平成6年4月に新潟ビジネス専門学校会計アネックス(NBA)として新潟ビジネス専門学校より分離し、平成9年4月に開校しました。その際のキーワードは「始まりは、いつも簿記」。

簿記学は15世紀のイタリアの商人の活動を起源とし現在に至るまで約500年もの間ビジネス・マネジメント実務界の共通言語（コミュニケーションツール）として、進むべき方向を表す指標（問題解決ツール）として世界経済の発展に貢献してきました。ゲーテは「人類が創造した最高のものの一つ」とし福沢諭吉は「簿記こそが日本の教育の基本である」としました。

教育で人は基本的に変わりません。教育は変わるチャンスを与えるにしかすぎません。本当

に変わるのは「気づいた人」のみです。だからこそさまざまなジャンルのこだわりぬいたプログラムでそのきっかけを用意しています。

NABIでは授業・実習・検定試験対策・研修旅行・競技大会・コンペ・イベント等を数多く実施しています。大切なのは個々のプログラムそのものを伝えるということではなく、それらを通じて簿記学の精神であるコミュニケーション能力、問題解決能力を備えた、人間力あふれる人材を輩出していくことです。

さまざまな学校活動を通じ、「感動」を数多く体験してほしいと願っています。クラブ活動のなかで精一杯持てる力を出し切り、そしてその結果に感動し涙を流す。インターンシップで多くの人と出会い感動する。イベントを通じ仲間と協力しあい、素晴らしいことを成し遂げ感動する。自分の進路を真剣に考え、多くの企業に出向き、いろいろなことに気づきながら少しづつ大人になっていく。「感動」は「感動」によってしか伝わらないと考えます。

最後に、全職員が、みなさんを全力でバックアップしていくことをここに誓います。